

文学部日本文学科・大学院日本文学専攻主催  
**教職をめざす学生のための特別講座**

教師になることをめざして日本文学科に進学した人も多いことと思います。しかし、自分は本当に教師に向いているのか、果たして自分は教師になれるのか、といった悩みをもつ人も少なくないはずです。

そこで日本文学科・日本文学専攻では昨年度に引きつづき、教師という職業と、教師をめざす自分を徹底的に「考える」講座を開催します。基礎をしっかり見つめ直すことは、将来教師になるためにも、また目前の採用試験に臨むうえでも、何よりも大切です。その意味で、教師になることを漠然と考えている学部1年生にも、そしてこの夏、採用試験に挑む4年生や修士2年生にも、有意義な講座になるはずです。積極的な参加をお待ちしています。

**講師 三浦修一先生**

(横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター主任研究員、  
元横浜市立中学校校長)

**講義内容**

**第1回 5月20日(月) 6時限目(18:30~20:00)**

**テーマ 教師という仕事 ~あなたはなぜ教師になりたいか~**

教育という営みは、私たちが作り上げてきた社会のシステムとして、社会の根幹を成す重要なものと位置づけられます。それでは、学校にそして教師に求められていることとはどのようなものなのでしょう。教職を目指すうえで考えておきたいこと、学生のうちに身に付けておくべきこととは何かを考えましょう。

**第2回 6月3日(月) 6時限目(18:30~20:00)**

**テーマ 学校教育の現在 ~どんな教師が求められているか~**

学生である皆さんが座って見ている教室と、教師となって見る教室とでは、実は景色が異なります。今、教師には、授業をすること(これが本務ではありますが)以外にも多くの役割と機能を果たすことが求められます。

それでは学校が、児童生徒が、社会が、どのような教師を求めているのか、今学校で起きていることから考えていきましょう。

**第3回 6月17日(月) 6時限目(18:30~20:00)**

**テーマ 教員採用試験 ~その内容から何を学ぶべきか~**

教師になるための登竜門として行われる教員採用試験ですが、その内容も方法も多様です。なぜ「多様」なのでしょう。そこではどのような試験が行われるのでしょうか。その試験のためにどんな準備が必要とされるでしょう。

いわゆる受験対策としてではなく、教師になるという夢を実現するためのステップとしてどのような準備が必要かを考えてみましょう。

会場 法政大学 ボアソナードタワー 25階 会議室B (各日程とも)

■三浦修一先生 プロフィール

大学を卒業後、横浜市内の中学校教諭、副校長、横浜市教育センター指導主事、横浜市教育委員会学校教育指導第一課主任指導主事を経て、横浜市立中学校校長。中央教育審議会スポーツ・青少年分科会臨時委員（第3期）も務める。退職後、横浜国立大学大学院教育学研究科学校教育臨床専攻で学んだ後、現職。

現在は、各地の教育委員会や教育センターにおける教員研修の講師を務めるほか、小学校・中学校・高等学校の校内研究・研修の助言を行っている。

編著に『「読解力」をはぐくむ国語学習—探究する学び、発信する学びをめざして—』（三省堂、2007）ほかがある。

**対象** 学部生、大学院生とも、学年を問いません。既卒者の参加も歓迎します。また、講義内容は、国語科に限定したものではありませんので、他学部・他学科、他研究科・他専攻の学生の参加も可能です。なお、講師は前年度に引きつづき三浦修一先生にお願いしますが、前年度参加した学生も奮って出席してください。

**申し込み**

参加を希望する方は、5月15日（水）までに、下記あてに申し込みをお願いします。その際、氏名、所属（学科・学年・ゼミ名）、メールアドレスをお知らせください。また、質問にも応じます。

文学部日本文学科 小秋元 段  
e-mail dkoakimt@hosei.ac.jp  
電話・FAX 03-3264-9799

**参加費無料**